

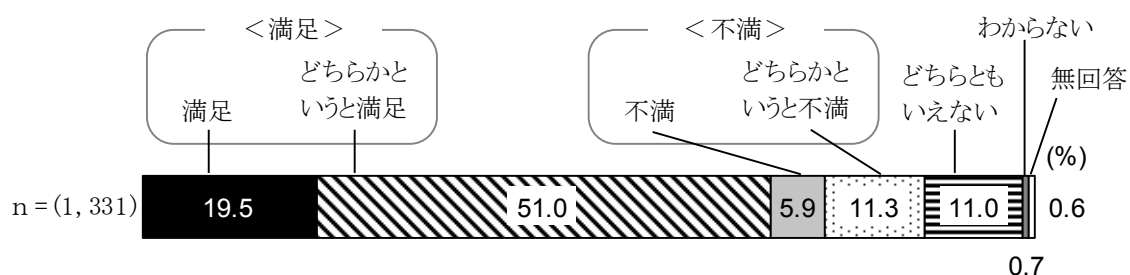
### 3 現在のお住まい周辺の住環境などについて

#### 3-1 お住まい周辺の住環境の満足度

◎<満足>が70.5%

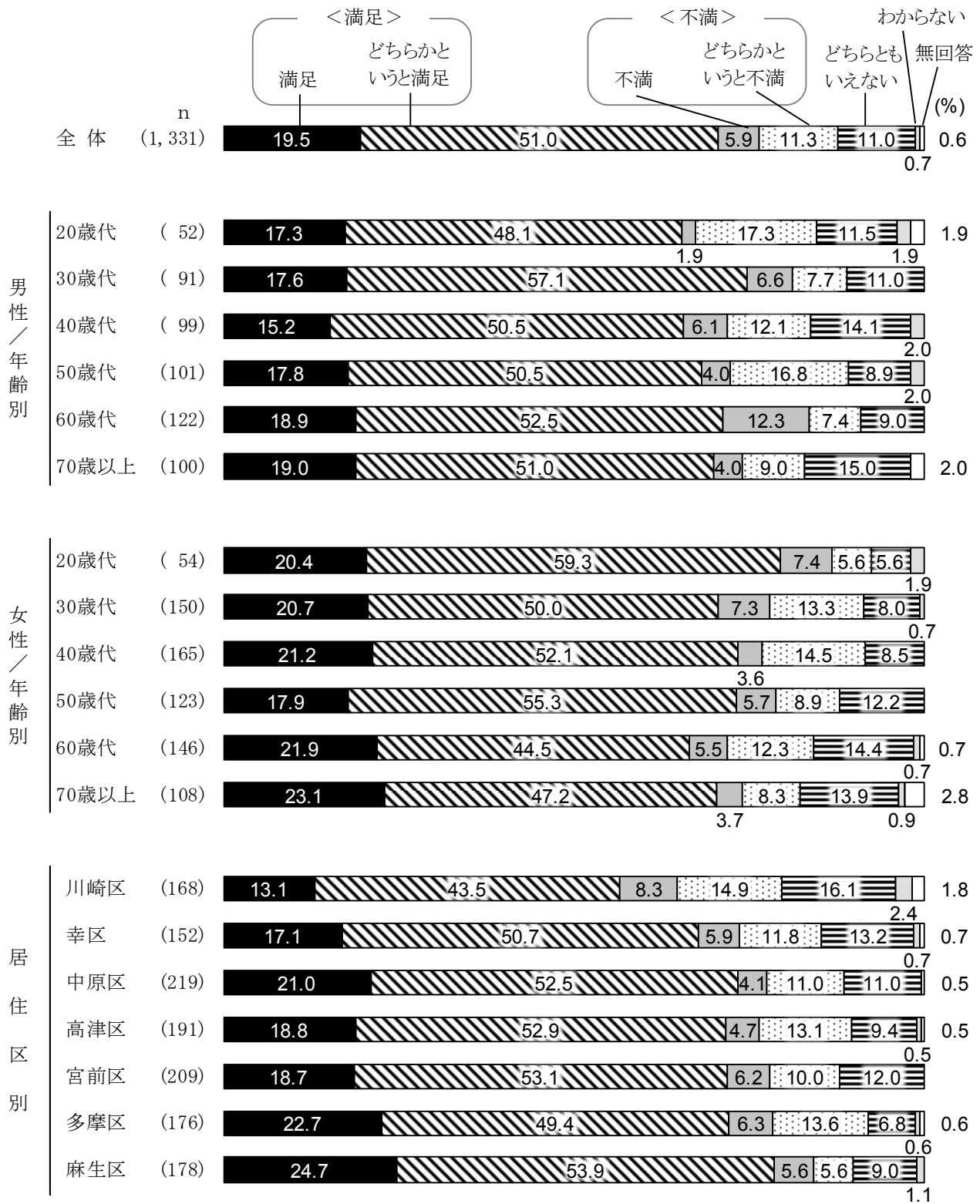
問 17 あなたは、現在のお住まい周辺の住環境に満足していますか。(〇は1つだけ)

図表 3-1 お住まい周辺の住環境の満足度



現在の住まい周辺の住環境について、「満足」(19.5%)と「どちらかという満足」(51.0%)を合わせた<満足>は70.5%となっている。一方、「不満」(5.9%)と「どちらかという不満」(11.3%)を合わせた<不満>は17.2%となっている。

図表 3-2 お住まい周辺の住環境の満足度（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、＜満足＞は、男性では30歳代（74.7%）が最も高く、女性では20歳代（79.7%）が最も高い。一方、＜不満＞は、男性は50歳代（20.8%）が最も高く、女性は30歳代（20.6%）が最も高い。

居住区別では、＜満足＞は、麻生区（78.6%）が最も高い。次いで、中原区（73.5%）、多摩区（72.1%）の順となっている。一方、＜不満＞は、川崎区（23.2%）、多摩区（19.9%）、高津区（17.8%）の順となっている。

## 3-2 満足しているところ

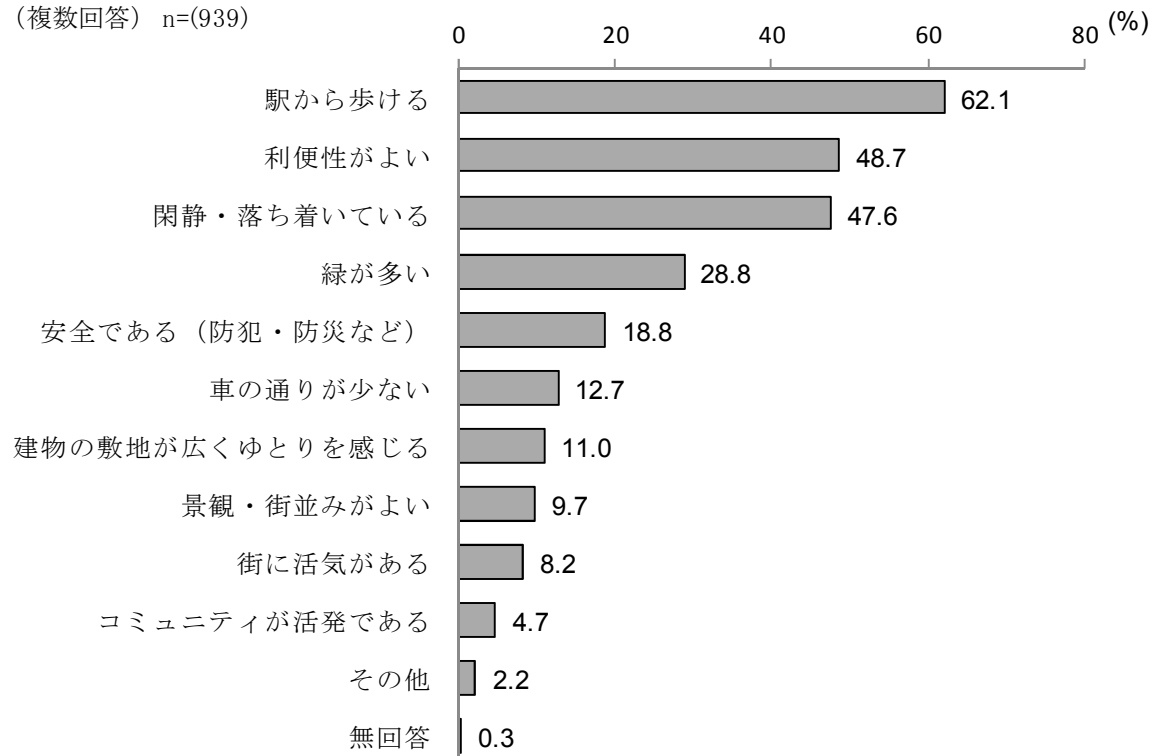
◎「駅から歩ける」が62.1%

問17で「1 満足」または「2 どちらかという満足」と回答された方にうかがいます。

問17-1 あなたは、どのようなところに満足していますか。(あてはまるもの3つまでに○)

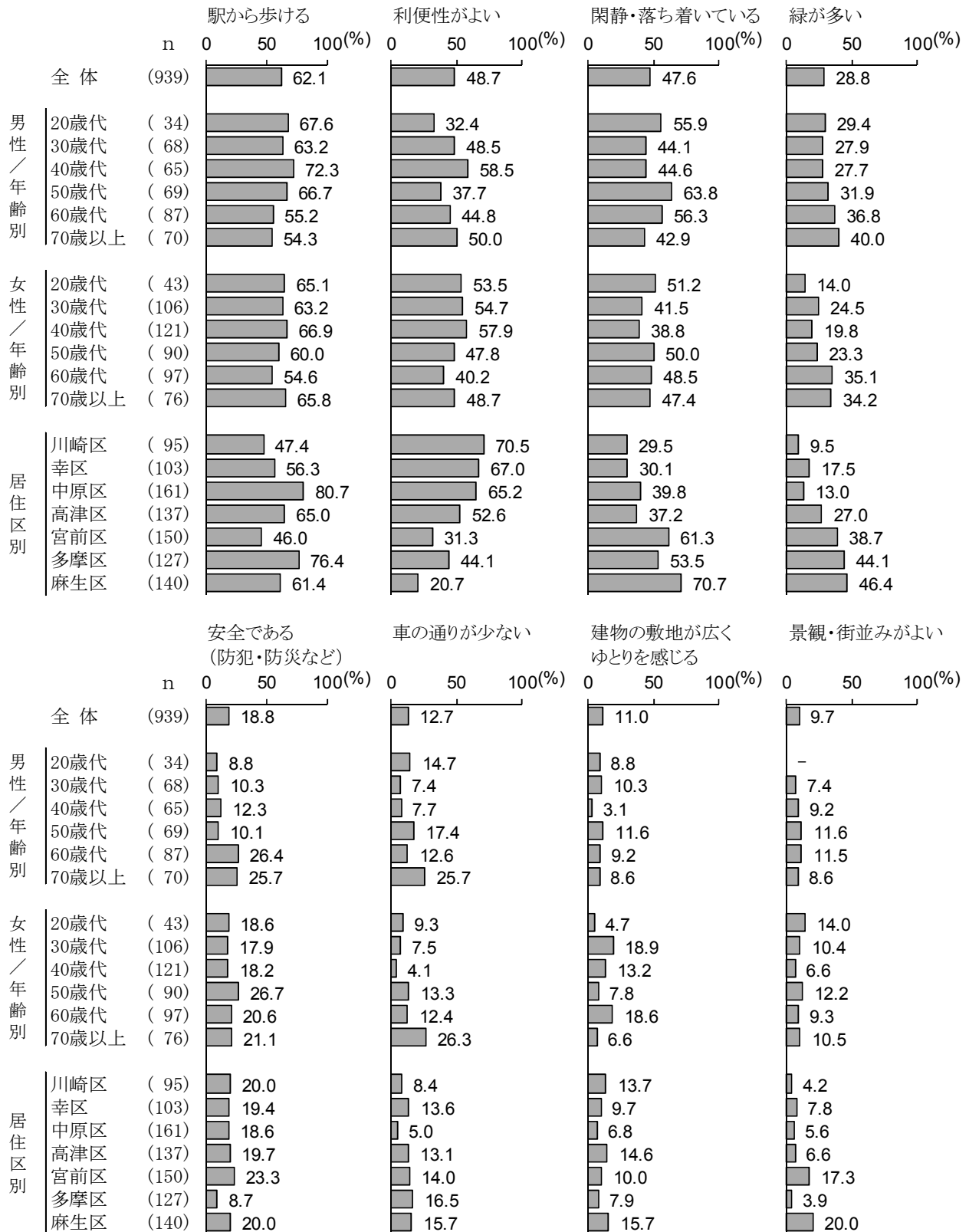
図表3-3 満足しているところ

(複数回答) n=(939)



満足しているところについては、「駅から歩ける」(62.1%)が最も高く、6割を超えている。次いで、「利便性がよい」(48.7%)、「閑静・落ち着いている」(47.6%)の順となっている。

図表 3-4 満足しているところ（性／年齢別・居住区別 上位 8 項目）



性／年齢別では、「駅から歩ける」及び「利便性が良い」で、男女ともに 40 歳代の割合が最も高い。「閑静・落ち着いたところ」は、男性では 50 歳代、60 歳代、女性では、20 歳代と 50 歳代の割合が高い。居住区別では、「駅から歩ける」では、中原区（80.7%）、多摩区（76.4%）の順で割合が高く、7 割を超えている。「利便性がよい」では、川崎区（70.5%）が最も高く 7 割を超えており、幸区（67.0%）、中原区（65.2%）が 6 割台で続いている。

### 3-3 不満なところ

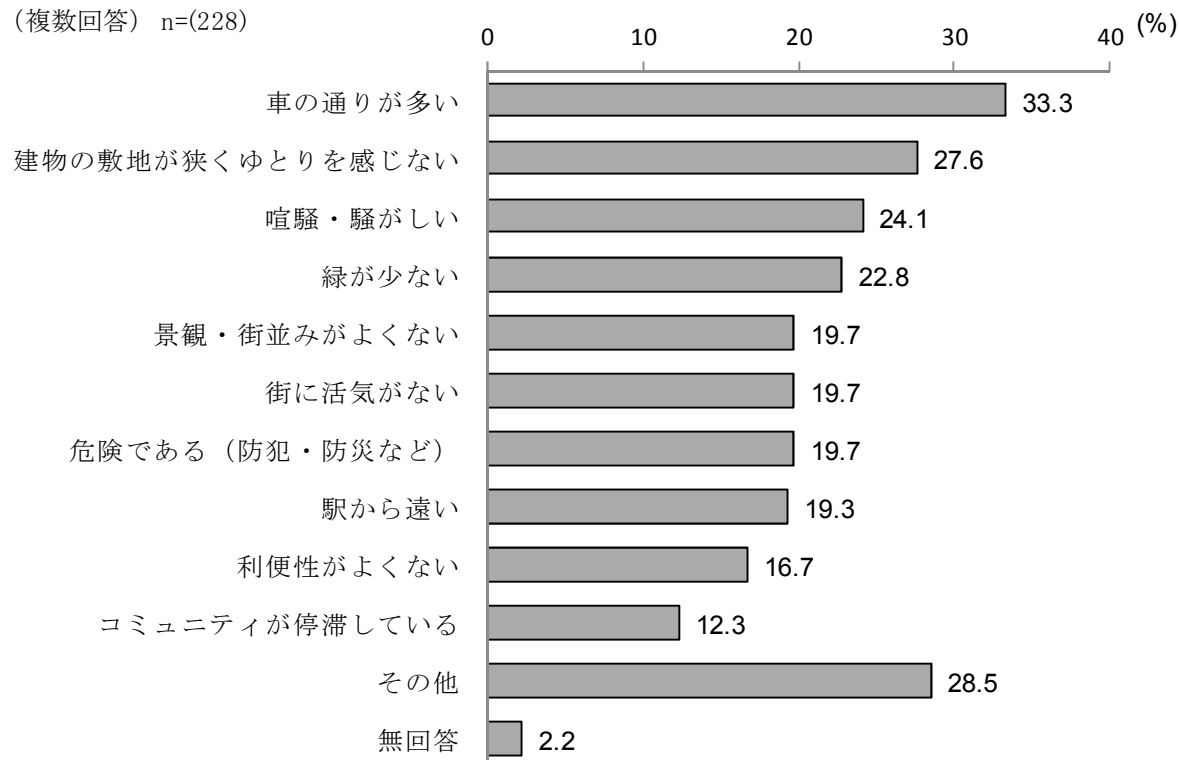
◎「車の通りが多い」が33.3%

問17で「3 不満」または「4 どちらかという不満」と回答された方にうかがいます。

問17-2 あなたは、どのようなところが不満ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

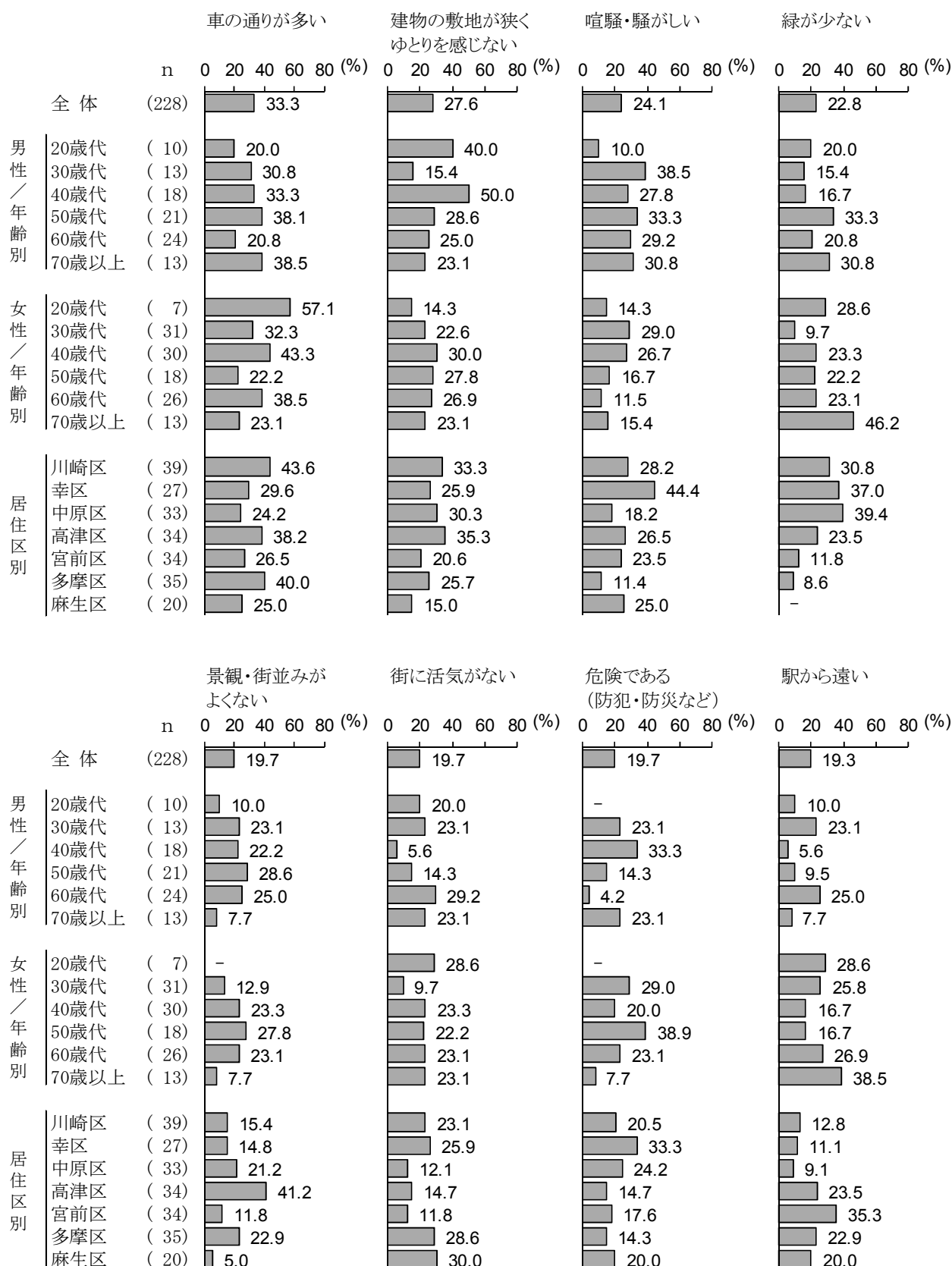
図表3-5 不満なところ

(複数回答) n=(228)



不満なところについては、「車の通りが多い」(33.3%)が最も高く、3割を超えている。次いで、「建物の敷地が狭くゆとりを感じない」(27.6%)、「喧騒・騒がしい」(24.1%)の順となっている。

図表3-6 不満なところ（性／年齢別・居住区別 上位8項目）



性／年齢別では、「車の通りが多い」は、女性20歳代（57.1%）、40歳代（43.3）の割合が高い。「建物の敷地が狭くゆとりを感じない」では、男性40歳代（50.0%）、20歳代（40.0%）の割合が高い。

居住区別では、「車の通りが多い」は、川崎区（43.6%）、多摩区（40.0%）の順で割合が高い。

### 3-4 良好な住環境づくりに重要だと思うこと

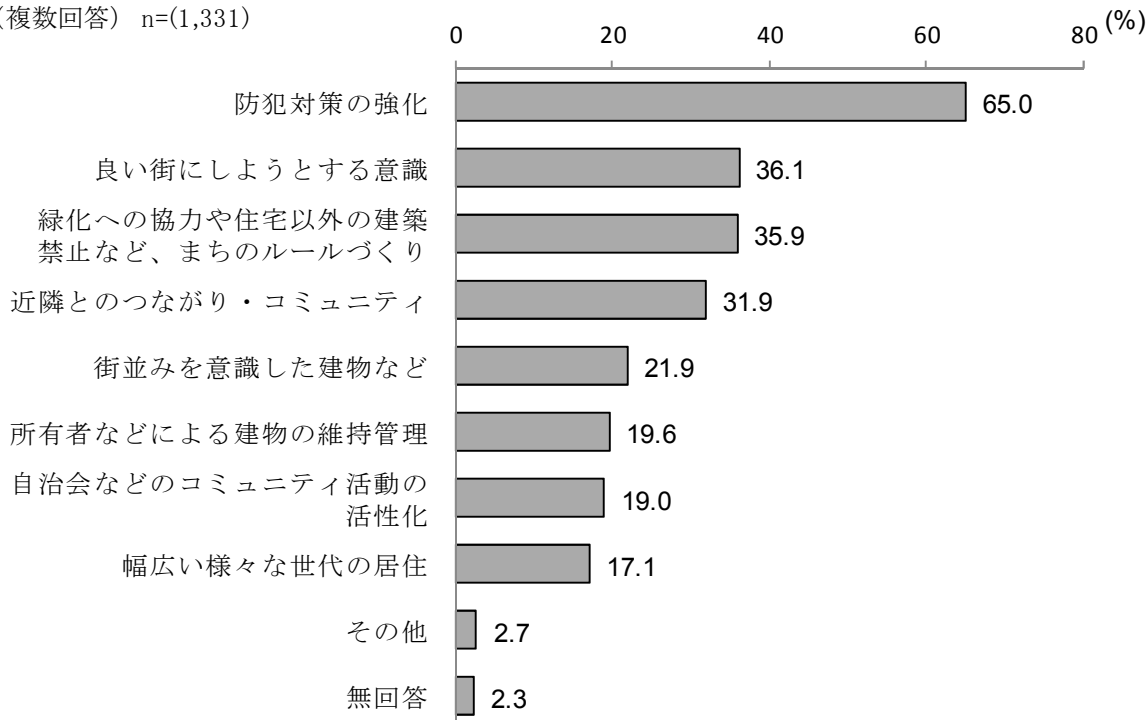
◎「防犯対策の強化」が65.0%

問 18 あなたは、良好な住環境をつくるために重要だと思うことは何だと思いますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

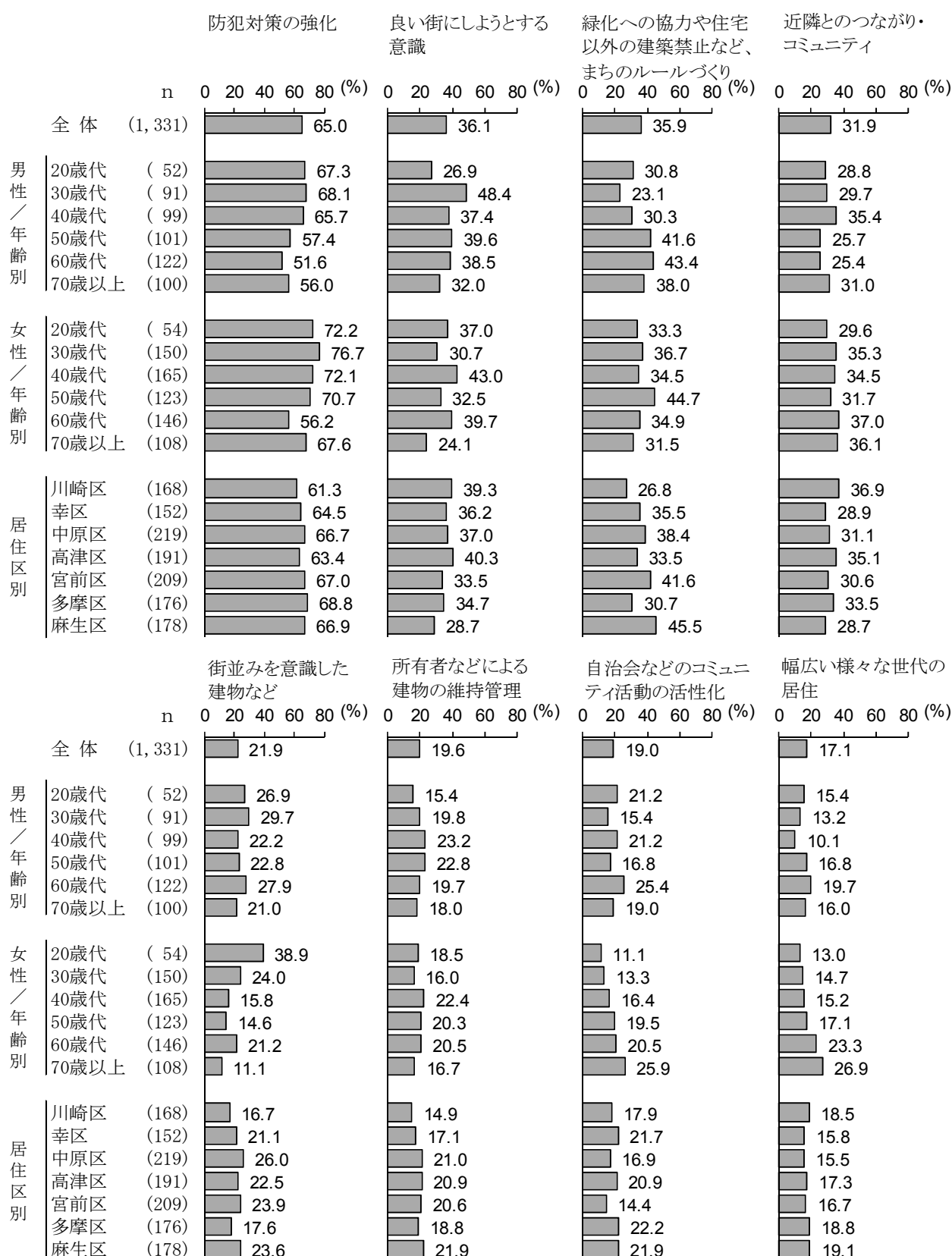
図表 3-7 良好な住環境づくりに重要だと思うこと

(複数回答) n=(1,331)



良好な住環境をつくるために重要だと思うことについては、「防犯対策の強化」(65.0%)が最も高く、6割を超えている。次いで、「良い街にしようとする意識」(36.1%)、「緑化への協力や住宅以外の建築禁止など、まちのルールづくり」(35.9%)、「近隣とのつながり・コミュニティ」(31.9%)の順となっている。

図表 3-8 良好な住環境づくりに重要だと思うこと（性／年齢別・居住区別 上位 8 項目）



性／年齢別では、「防犯対策の強化」は、性別、年齢を問わずに 5 割を超えている。「良い街にしようとする意識」は、男性では 30 歳代 (48.4%)、女性では 40 歳代 (43.0%) で最も高い。

居住区別でも、「防犯対策の強化」は、区を問わず 5 割を超えている。「緑化への協力や住宅以外の建築禁止など、まちのルールづくり」では、麻生区 (45.5%)、宮前区 (41.6%) の順で高くなっており、4 割を超えている。

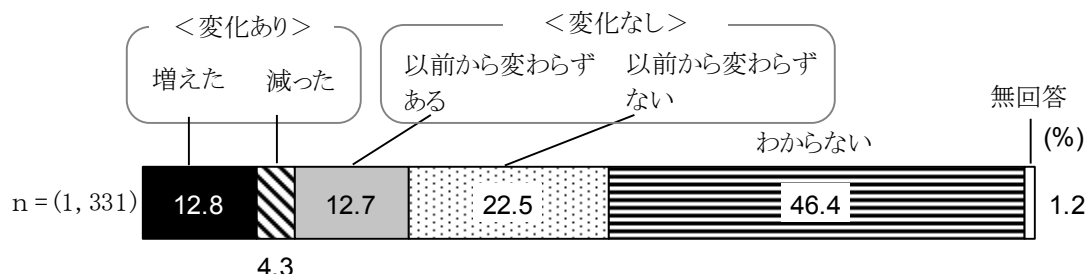


### 3-5 近隣での空き家の状況変化

◎「増えた」が12.8%、「減った」が4.3%で<変化あり>が17.1%

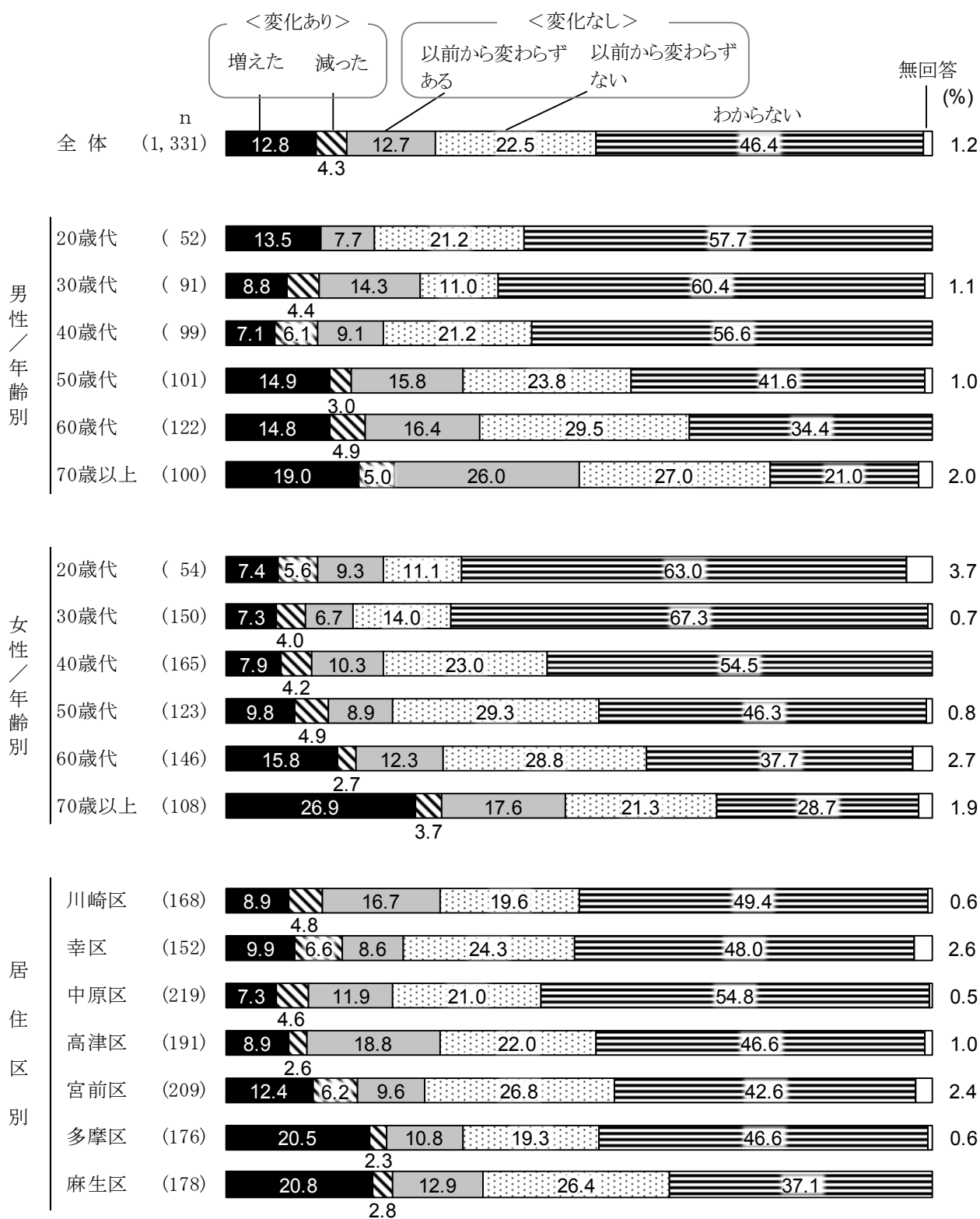
問19 あなたのお住いの近隣で、この数年間、空き家が増えたと思いますか。(〇は1つだけ)

図表3-9 近隣での空き家の状況変化



この数年で、近隣に空き家が増えたと思うかについて、「増えた」は12.8%、「減った」は4.3%となっており、「増えた」、「減った」を合わせた<変化あり>は、17.1%となっている。また、「以前から変わらずある」は12.7%、「以前から変わらずない」は22.5%となっており、「以前から変わらずある」と「以前から変わらずない」を合わせた<変化なし>は、35.2%となっている。

図表3-10 近隣での空き家の状況変化（性／年齢別・居住区別）



性／年齢別では、性別、年齢を問わず、「増えた」が「減った」を上回っている。また、性別を問わず、各年代とも、＜変化なし＞が＜変化あり＞を上回っている。

居住区別では、「増えた」が麻生区（20.8%）、多摩区（20.5%）で2割を超えている。また、全ての区で「増えた」が「減った」を上回っている。一方、各区とも、＜変化なし＞が＜変化あり＞を上回っている。

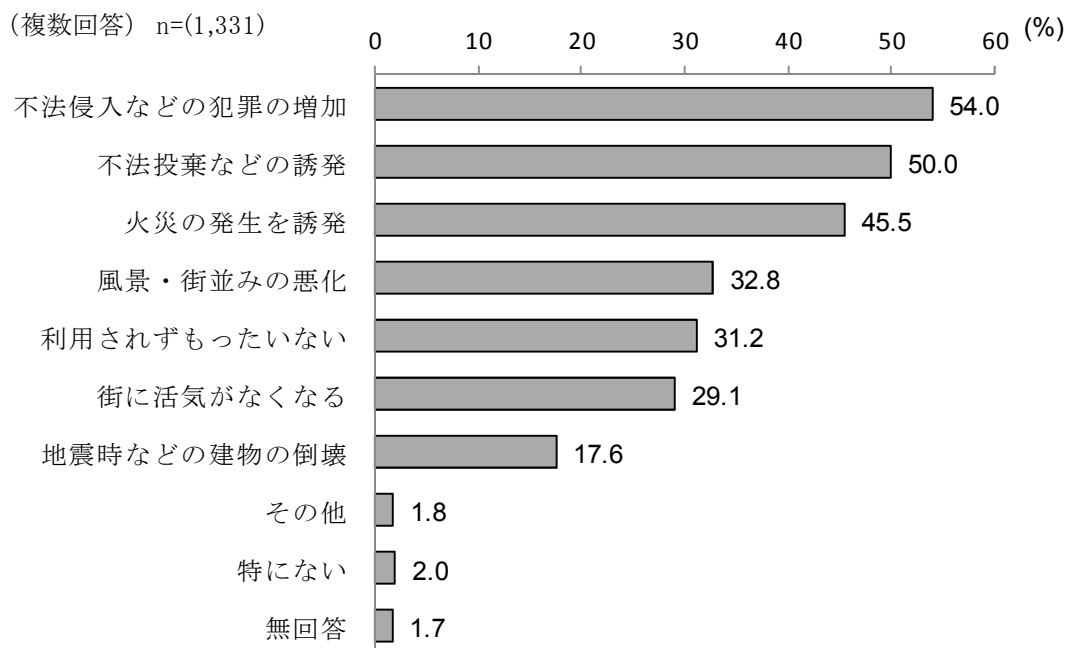
### 3-6 空き家の存在により生じる問題

◎「不法侵入などの犯罪の増加」が54.0%

問 20 あなたは空き家が存在することにより、どのような問題が生じると思いますか。

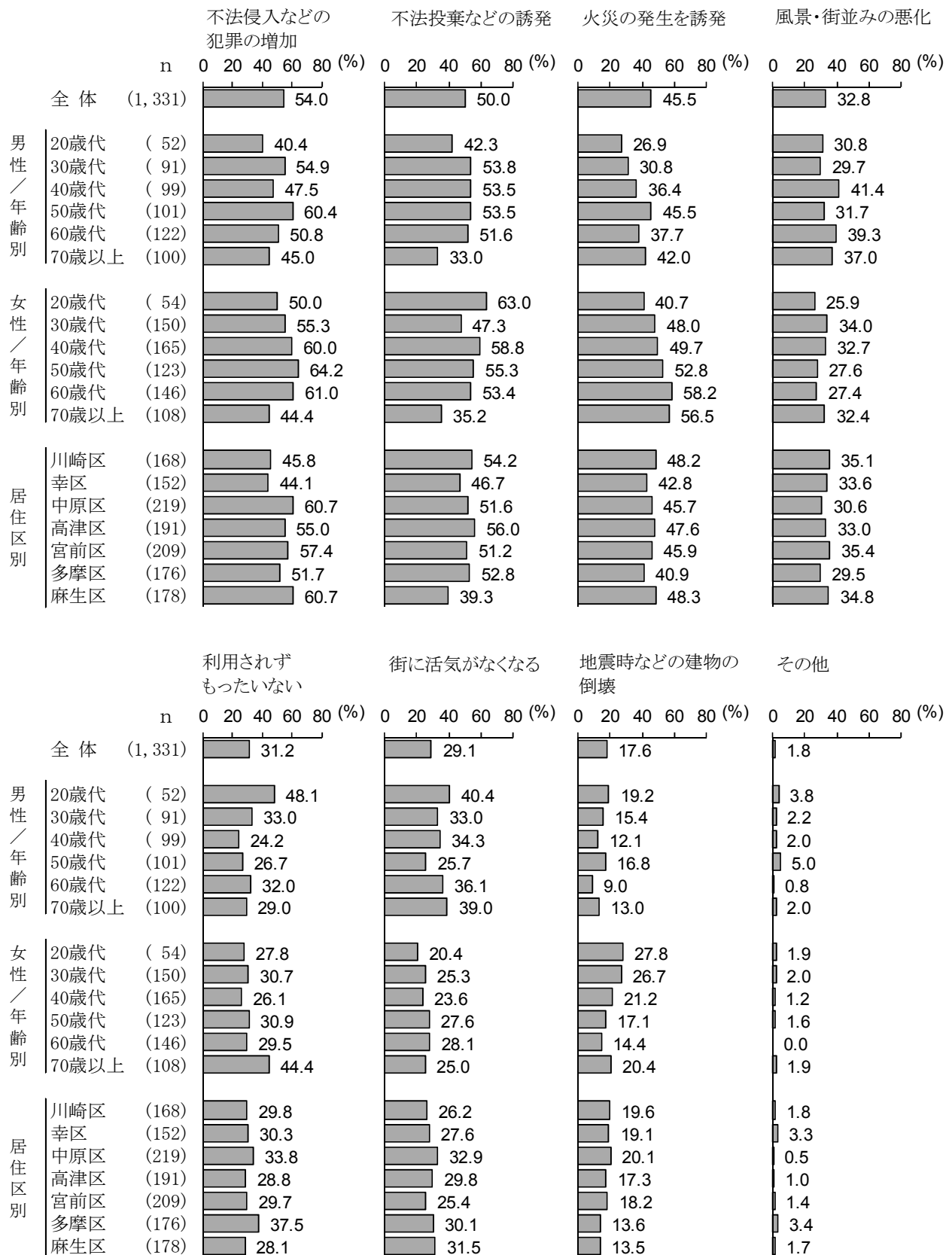
(あてはまるもの3つまでに○)

図表 3-11 空き家の存在により生じる問題



空き家が存在することにより生じる問題については、「不法侵入などの犯罪の増加」(54.0%)が最も高く、次いで、「不法投棄などの誘発」(50.0%)、「火災の発生を誘発」(45.5%)の順となっている。

図表3-12 空き家の存在により生じる問題（性／年齢別・居住区別 上位8項目）



性／年齢別では、「不法侵入などの犯罪の増加」では、男女とも50歳代で6割台と最も高い。「不法投棄の誘発」では、男女とも40歳代～60歳代で5割を超えている。

居住区別では、「不法侵入などの犯罪の増加」が中原区（60.7%）や麻生区（60.7%）で6割台にのぼっている。

### 3-7 空き家対策に必要なこと

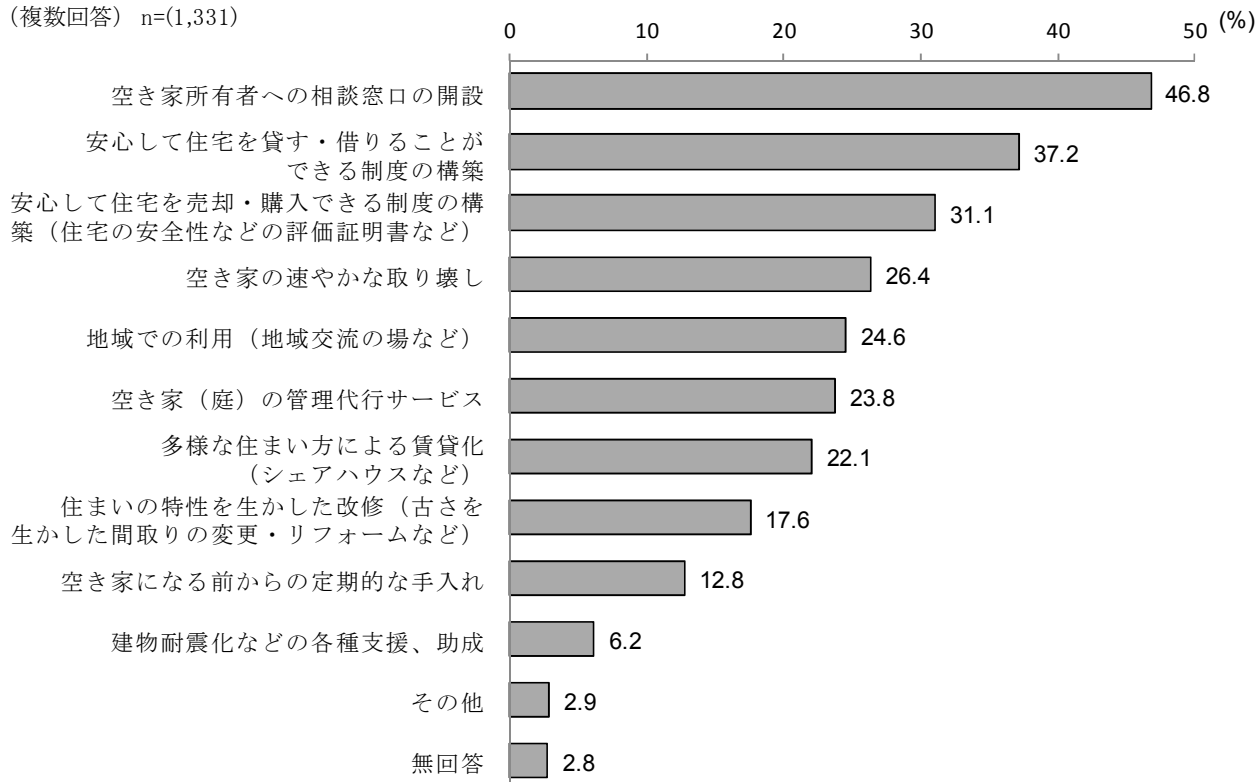
◎「空き家所有者への相談窓口の開設」が46.8%

問 21 あなたは、空き家対策として、どのようなことが必要であると思いますか。

(あてはまるもの3つまでに○)

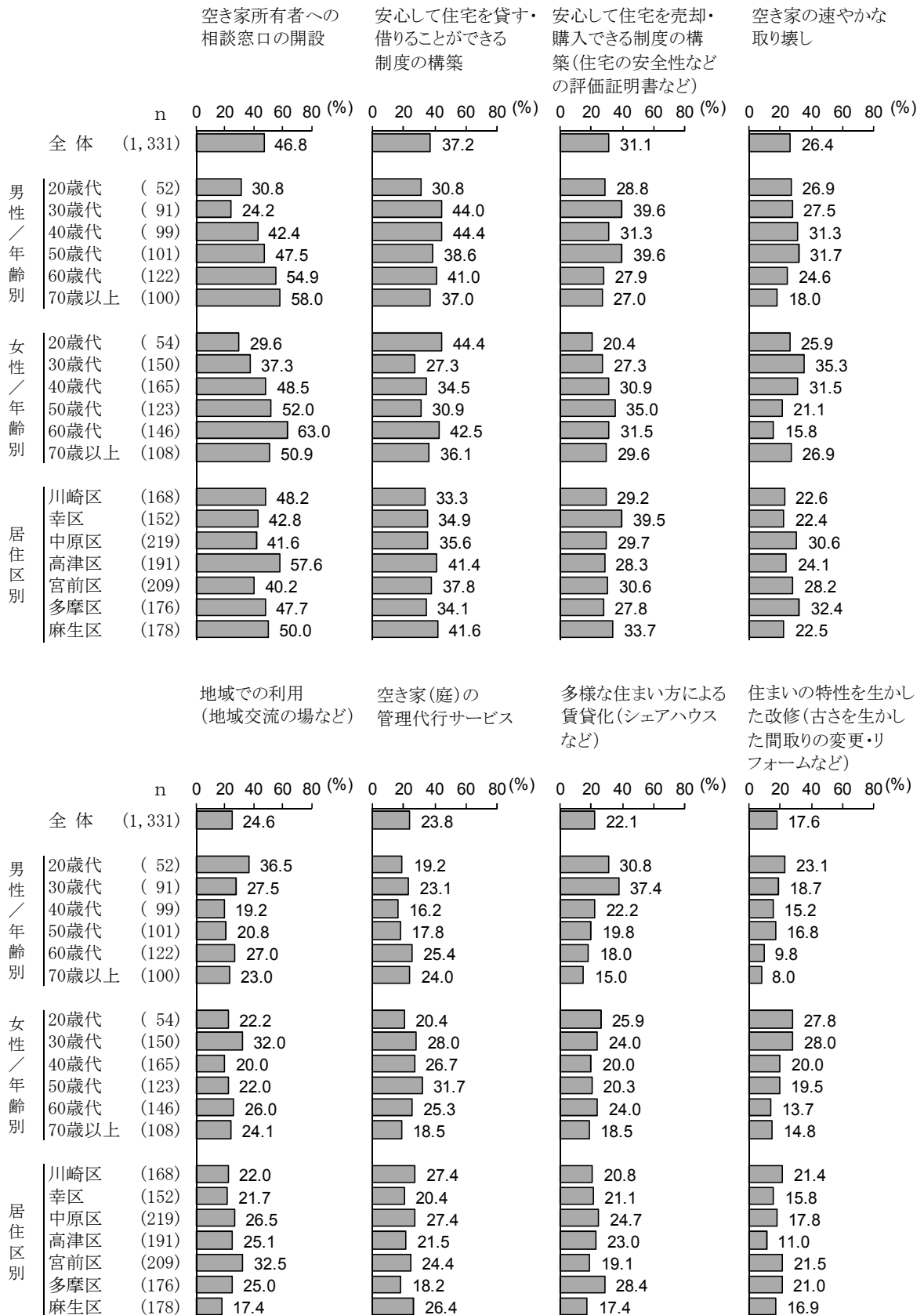
図表 3-13 空き家対策に必要なこと

(複数回答) n=(1,331)



空き家対策として、必要であると思うことについては、「空き家所有者への相談窓口の開設」(46.8%)が最も高い。次いで、「安心して住宅を貸す・借りることができる制度の構築」(37.2%)、「安心して住宅を売却・購入できる制度の構築 (住宅の安全性などの評価証明書など)」(31.1%)の順となっている。

図表3-14 空き家対策に必要なこと（性／年齢別・居住区別 上位8項目）



性／年齢別では、「空き家所有者への相談窓口の開設」では、男女とも年代が高くなるにつれ、割合が高くなる傾向にある。

居住区別では、「空き家所有者への相談窓口の開設」は、高津区（57.6%）及び麻生区（50.0%）で5割を超えている。